



<学校教育目標>
自ら学び 自他を尊重し
心豊かでたくましい生徒の育成

<重点目標(スローガン)>
感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道
発行：長崎市立丸尾中学校
文責：校長 川口 猛
令和8年10月23日(金) NO31

<道しるべ>

明石家さんの名言

- ① 生きてるだけで丸儲け
- ② 落ち込んでる暇があったら、笑っとけ
- ③ 人生はな、思い通りにならんからおもしろいんや
- ④ 悩みがあるってことは、まだ余裕がある証拠や
- ⑤ 幸せは探すもんちゃう。気づくもんや
- ⑥ 嫌われるのが怖い人間は、結局誰にも好かれへん
- ⑦ 人と比べた瞬間に、不幸が始まる
- ⑧ しんどい時こそ、よう笑え
- ⑨ カッコつけたら、人生おもんなくなる
- ⑩ 正解なんて後から自分で作ったらええ

歌は心のハーモニー

長崎市連合音楽会での感動的な歌声

～すべての人に『ありがとう』を～

10月16日、「長崎市中学校連合音楽会」が開催されました。本校は、全校生徒69名全員がステージに上がり、ブリックホールの中で、これまでの成果を披露いたしました。皆が一丸となり、市内一番とも誇れる見事な一体感と胸を打つハーモニーを会場いっぱいに響かせました。

ステージで披露したのは『あさがお』と『正解』の2曲です。この日に至るまで、生徒たちは1学期の授業はもちろん、限られた昼休みや放課後の時間をも惜しむように使い、情熱を持って練習に打ち込んできました。パートごとの音合わせから全体の表現に至るまで、「もっと美しい声を届けたい」と生徒一人ひとりが主体的に課題に向き合い、互いに声を掛け合いながら粘り強く努力を重ねてきました。

このステージの裏には、多くの支えとドラマがありました。この日のために全体のテンポや表現を一身に背負い導いた指揮者、そして何より数か月間もの間、膨大な練習を重ねて素晴らしい演奏でみんなの歌声を支え抜いた伴奏者。そして、「みんななら絶対にできる」と熱い情熱で生徒たちの背中を押し続けた先生方の温かい励ましの言葉がありました。さらに、丸尾中フェスタで披露したときの、保護者や地域の方々の皆さんを想う気持ちと優しさがあったからこそ、生徒たちは安心して自分たちの表現に集中することができたと思います。そして、最大の感動は、お互いが協力し合い、時には壁にぶつかりながらも着実に壁を乗り越え、心がつながった瞬間だったからこそ、すべての人に感動を与えたと感じています。

本校の学校経営方針は、「感謝+優しさ=笑顔と幸せへの道」ですが、生徒たち自身が体現した瞬間でした。練習を通して周囲への「有難い」という気持ちを深め、感謝の心がどれほど大切かを学であらうと信じます。その生徒たちが、ステージの上で、大きく口を開け、全身でリズムを取りながら表現し、全員が最高に弾ける笑顔で眩しく輝いていました。その姿は、会場にいたすべての人々に大きな感動と幸せを届けた貴重な時間でした。丸尾中フェスタでも挨拶の時に述べましたが、『自慢の息子たち、娘たち』です。(ジェンダー的にはあまり良い表現ではありません。すみません)

今回は、学校全体の担任という気持ちで、皆さんの歌を聴かせてもらい、聴きながら、私も学級担任を持っていたころに、合唱コンクールを前に生徒共に熱くなった頃を思い出しました。

この69名の仲間とともに舞台に立ち、心をつなげて歌った時間は、人生において「たった一度きり」の宝物です。心に深くそれぞれが感じたことは刻まれることでしょう。支えあった人々への感謝の想い、そして最高の思い出を、これからも大切に胸に抱き続けてほしいと思います。

2学期の始業式に、話した内容の中に、次のことがありました。（スライドです）

2学期の合言葉:3つの'C'で成長しよう!

1. Chance

行事や日々の学びがたくさんある2学期は、自分を高める大きな絶好のチャンスです!

チャンス(機会)

2. Challenge

失敗を恐れず、「あと一歩」努力や工夫をプラスして、新しいことに挑戦しよう!

チャレンジ(挑戦)

3. Change

挑戦を積み重ねた先には、一歩前進してたくましくなった「新しい自分」が待っています!

チェンジ(変化・成長)

今回の連合音楽会という大きなチャンス(Chance)に対し、69名全員で本気でチャレンジ(Challenge)したことで、自分たちの可能性を広げ、大きな成長というチェンジ(Change)へと見事に変わりました。2学期の大きな成果になったことを一人一人誇りに思い、そして、次へとつなげていきましょう。丸尾フェスタが終わった後に、NO26号で述べたとおり、『つなぐ』『つなげる』『つながる』ことがこれからの私たちに課された大きな試練です。

『丘を越えれば、またその先には次なる丘が見えてくる。そして私たちは、黙って、その丘を越えるために一步一步歩みだす。そうしながら、また、次の丘が見えてくる。』学生時代だけでなく、社会人になってもその連続だなと年をとってしみじみ感じます。きっとこれからもそうでしょう。前回、紹介した、メタ認知の視点から、この連合音楽会への取組を振り返って、さらなる高みを目指してほしいと思います。既に、何度も言っていることですが、『現状維持は後退』です。『凡事徹底』『4M』のどこにつなぐか、自分たちで考えて答えを出し、一步一步歩みだしたとき、新たな壁は乗り越えることができるはずです。最後に、素晴らしい心のハーモニーをありがとう。感謝しています。